



## 2022年度協約改訂を全組合員で闘おうシリーズ⑭

### 同一労働同一賃金はどこへ！

今までと全く変わらない仕事をしていて、専任社員だから賃金が大幅に減額され、手当までもがカットされるのはおかしい！  
国の制度で年金支給まで雇ってやるから我慢しろと言っているようなもの！

専任社員の労働条件について会社は、私たちの要求である短日数勤務や短時間勤務について「社会情勢を踏まえながら検討していくが、出面により固定的に要員を確保することが基本となる鉄道業の特性上、効率的な業務運用等の観点から、フルタイム勤務を基本としている。また、高齢者を理由に特別な業務内容、勤務形態、勤務地とする考えはない」と回答しています。そのため、仕事がきつくて、やむなく退職を選ぶ社員が多々います。

ならば、これまでと何ら変わらぬ業務を行っていくのであれば、賃金においても高齢者を理由に差別的扱いは行うのは理にかなっていません。更に、専任社員をランク（I～V）に分けることで、更なる安価での労働力を使えるようにしているのです。

このように、年金支給までの間「雇ってやる」と言わんばかりの会社の姿勢を追及しなければなりません。JR東海労は、高齢者でも安心して働ける労働条件の改善に向けて、更に交渉を積み重ねていきます。